

## 「第2回 塩害等による構造物・環境影響に関するシンポジウム」 -社会インフラの維持管理のために-

塩害や腐食を引き起こす物質の影響、特に構造物への影響は、社会インフラなどの老朽化とも関連することから、近年大きな問題になりつつあります。そこで道立総合研究機構では、昨年から、環境中の物質による金属腐食やコンクリート劣化、社会インフラなどの老朽化問題、さらにはその対策による様々な影響に関する公開シンポジウムを開催しています。今年も、金属腐食やコンクリートの劣化の判定やその予測、さらには社会インフラ長寿命化対策とそれに関わる環境問題など、北海道だけでなく、全国的な取り組みについて、わかりやすく解説させていただきます。

大学などの研究部門のみならず、社会インフラの維持管理を行う道や市町村などの行政機関、また実際の補修・整備、建設、あるいはその計画立案などを担当する民間企業、さらには一般市民の方々も広く参加出来ます。

- 日時 平成27年1月28日(水) 13:30~16:40 (13:00開場)
- 場所 札幌エルプラザ3F 札幌市男女共同参画センター ホール  
(札幌市北区北8条西3丁目)  
※ 札幌駅「北口」から徒歩3分。札幌駅北口地下歩道12番出口横から直通
- 主催 北海道立総合研究機構「塩害等による構造物・環境影響に関する研究会」  
(構成機関：工業試験場、北方建築総合研究所、環境科学研究センター)
- 次第
  - ・ 基調講演  
「土木学会コンクリート標準示方書における塩害の取り扱い」 北海道大学 横田 弘  
「流体解析を用いた飛来海塩予測手法の開発」 電力中央研究所 須藤 仁  
「鋼橋の効率的な維持管理(腐食制御の考え方)」 (株)四電技術コンサルト 三浦 正純
  - ・ 一般講演  
「送電設備腐食診断プロジェクトの取り組み」 北海道電力(株)総合研究所 辻野 二郎  
「橋梁等における塗膜中のPCB等有害物質について」 島津テクノリサーチ 岩田 直樹  
「本シンポジウム開催の背景と今後の予定」 道総研 環境科学研究センター 野口 泉

参加は無料です。申し込みは、氏名、所属、メールアドレスなどの連絡先を、シンポジウム事務局までお知らせください。期限は1/20ですが、予定人数になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。

### 詳しくはこちらへお問い合わせください。(事務局)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部企画調整部企画課 一ノ関  
環境科学研究センター環境保全部 野口  
電話 011-747-3532 Fax 011-747-3254  
E-mail ies@hro.or.jp URL <http://www.ies.hro.or.jp>